

## 競技・審判上の注意（訂正版）

### 【全般的事項】

- この大会は、令和8年度公益財団法人全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、並びに公認審判員規程により行います。
- 審判は、原則として村山地区高校生が行います。準決勝以上の試合では公認審判員が行います。なお、サービスジャッジは原則としてつけません。
- プレイヤーは、試合開始予定時刻の1時間前までには会場に到着し、引率者か監督は必ず「受付」を済ませてください。大会本部脇に「受付」を設置いたしますので、「会場案内図」でご確認ください。
- 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
- 朝の公式練習時間を設けます。プログラム記載の「公式練習コート割」の通りに行ってください。なお、練習用のシャトルは各校で準備してください。
- 競技開始時間は、初日10時00分からの開会式終了後とします。2日目以降は、9時00分とします。また、試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。コールには十分注意してください。
- 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りです。
  - <学校対抗> 学校対抗が連続する時は、20分とします。
  - <個人対抗> 個人対抗（単・複）が連続する時は、15分とします。また、各試合（マッチ）のインターバルは次の通りです。
  - すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが8点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。（プレイヤーは20秒前にはコートに入ること）
  - 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間には120秒を超えないインターバルを認めます。（プレイヤーは20秒前にはコートに入ること）
- 今大会のスコアリングは、すべての種目において15点3ゲームマッチで実施いたします。
- インターバル時に指示・助言をする場合には次の条件に従ってください。
  - インターバルでは、どちらのサイドも2人まで競技区域に入ってきてよい。これは、エンドを替えた後に入り、主審が「（コート番号）20秒」とコールしたら、コートから離れるものとする。
  - プレイヤーがエンドを替える際、コーチングシートに着席する方も移動し、コーチングシートを使用してください。
- マッチ中の水分補給、汗ふきなどは主審の許可を得てください。
  - なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止します。
  - タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、コートサイドにバッグを持ち込んで保管してください。
  - 容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用して下さい。
  - 氷嚢は、コーチ席で保冷バッグなどに入れ保管してください。
  - 学校対抗の際、ベンチ（シート上）での水分補給を認めます。ただし、必ず蓋付きの容器を使用してください。万が一シートが濡れた場合は、各校の責任において、直ちに拭き取り、フロア（床）面の保護には万全の注意を払ってください。フロアに直接置くことは禁止とします。
- サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行います。
- 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
- 次のような違反行為に対しては、主審が厳正に対処をします。（競技規則第16条）
  - 体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせること。
  - 主審の許可なしにコートを離れること。
  - インターバル時間を超えてもコートにもどらないこと。
  - プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。
  - 故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
  - 相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
  - 言葉やジェスチャーでサービスジャッジまたは線審に影響を与えたり、または脅迫しようとする事。
  - 競技規則を超えた不品行または不愉快な行動。
- 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。（背面の文字は明確に判読できるものとし、大会運営規程第24条に沿ったものの着用をお願いします）
- マッチ（試合）中のけがや病気の場合は、主審が慎重かつ適切に処置しますが、もし必要ならばレフェリーを呼びます。レフェリーは医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。痙攣やねん挫などに使用するスプレーは、インターバル中を除き、マッチ中に使用は認められません。
- 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。判定に対し疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では、「当該プレイヤーと監督」、個人対抗では、「当該プレイヤー」に限ります。

17. コーチングシートについて  
○本大会は2席設けます。  
○着席する者は、公認審判員規程第5条第12項にある試合にふさわしい服装で臨んでください。
18. 競技フロア内では、監督、コーチ、マネージャー及びプレイヤーの携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源を OFF にしてください。（公認審判員規程第5条第12項（5）（6））
19. コーチ（コーチ席に座る者）はマッチにふさわしい服装で臨んでください。またコーチの着衣についても、背面等の条項が適用されます。取り決めに反するユニフォームを着用して競技区域に入ることはいけません。
20. シャトルに回転を加えてから打つ、通称「デコピンサーブ」はフォルトとします。
21. 試合前のウォームアップなどは館内で行わないでください。ジョギング等のため外出する場合は試合開始時間に影響がないよう戻ってください。
22. その他大会本部の指示に準じます

#### 【学校対抗に関する事項】

1. 監督、コーチ、マネージャー、プレイヤーの変更は9時15分をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。なお、追加は認められません。
2. 初回戦のオーダー用紙は、受付で配布する袋に同封してあります。次回戦以降は主審が直接手渡します。
3. オーダー用紙は複写で記入し、自校保存用以外のものを本部席に提出して下さい。提出する方は、監督、コーチまたはそれに準ずる方とします。（部員は禁止とします。）
4. 今大会はオーダー用紙を進行の求めに応じて本部席に提出するものとし、交換は行いません。  
初回戦（6/5）のオーダー用紙の提出を9時30分とします。決勝（6/6）の提出は8時40分とします。
5. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無いときには「棄権」とします。
6. エントリーをしている競技者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、プレイヤー5～7名）は、コールがあったら速やかに、試合のあるコートに集合して下さい。若番の学校が主審の右側とします。
7. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた競技者のみとします。
8. 同一プレイヤーが連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
9. マッチ（試合）は勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。

#### 【個人対抗に関する事項】

1. プレイヤーの変更はいかなる場合でも認められません。
2. プレイヤーはコールがあったらコートに集合して下さい。若番のプレイヤーが主審の右側とします。
3. マッチ直前の練習は、ありません。

#### 【一般上の注意】

1. 競技会場の開場について、3日間とも7：50となります。
2. 大会会場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけ、靴は自分で管理してください。
3. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止します。但し、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認めます。濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
4. 応援席については、特に設けませんが、占有しないこと。
5. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示に従って撤去してください。
6. フラッシュ・ストロボを用いたの写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
7. ビデオ撮影などを行う際は、観客席からの視界を妨げないよう気を付けて設置してください。
8. ライブ配信については、専門部から周知されている「ライブ配信の活用について」を遵守し運用してください。各自のホームビデオなどで撮影したものは、マスメディアなどに提供しないようにしてください。
9. ゴミは各自（各チーム）で持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
10. 競技中の疾病・傷害については応急処置のみ主催者で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
11. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
12. 会場内では、指定された場所以外の使用を禁じます。
13. 通路等を占有するような使用は厳に慎んでください。
14. その他会場使用に関しては、大会本部、施設管理者の指示に従ってください。